

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

**新町会長さんです。  
どうぞよろしく**

\*環境問題は身近なところから

小山5丁目町会



石井 規之さん(68)

[出身地] 小山5丁目

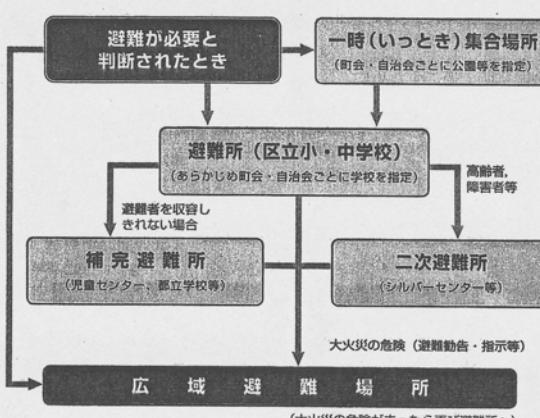
[趣味] 音楽全般鑑賞、スポーツ観戦

[ひと言] 老いも若きも一丸となって、防火防災に強い安全で安心な住み良い町内づくりを目指していきたいと思います。また、地球温暖化など環境問題も大変気にかかります。まずは一人ひとりが、身近なところから環境にやさしい生活を心がけることではないでしょうか。これによって、町内は緩やかながらも、見事によみがえていくことを確信しています。

- 家具の転倒や照明器具の落下を防止
- 非常備蓄品・持ち出し品の備え
- 寝室にはなるべく大型家具を置かない。背の高い家具やテレビには専用器具などを用いて固定する。
- 風呂桶に生活用水を確保

地震対策は万全ですか？  
新潟県中越沖地震が発生して1年が過ぎました。この6月には岩手・宮城内陸地震が発生、7月24日には岩手県沿岸北部を震源とするマグニチュード6・8の地震が発生しました。東京においても直下型地震の襲来が危惧されていますが、皆さんのお宅では地震対策は万全ですか？「防災の日」を前にして被害を最小限にとどめるためにはどうしたらよいか、改めて身近な対応策を見直しておきましょう。

## ☆日ごろからの備え



● 消火などの備え  
火災の発生に備えて消火器を最低1本は揃え使用方法を熟知しておきたい。ふだん使っていない電気器具はプラグを抜いておく。

● けがの防止対策  
食器棚や窓のガラスには飛散を防ぐために防止用スクリーンなどを保護する。底の厚いスリッパや靴、ヘルメットを備えておく。

● 家族で話し合い  
安否の確認方法や集合場所をふだんから話し合って決めておく。

● 出口を確保する  
小さな揺れの時、または揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保しておく。

● すばやい消火  
コンロやストーブなどの火を消すチャンスは①小さな揺れを感じた時②大きな揺れがおさまった時③出火した時、の3回ある。

● 地震発生時の心構え  
落物の危険があるので、あわてて外に飛び出さない。大きな揺れがおさまるまで、テープルなどの下に身を隠して様子を見る。

● わが家の防災対策  
蛍光テープを張っています。

△高校生の子どもに、徒步でも

にしたいと思います。

家族や近隣との日ごろからの連携が大切です

本紙「まちかど」広報委員にわが家の防災対策をうかがつてみました。

△地震発生直後には自動販売機は使えないと思いますが、いつでも小銭を用意しています。

△各部屋に懐中電灯を設置しています。暗くてもわかるように

できる我が家のお震診断を試してみた。結果は耐震診断が必要、とのこと。支援事業の情

報も掲載されていたので、参考

みたいと思います。

△高校生の子どもに、徒步でも

にしたいと思います。

△品川区のホームページにある

宅までの道筋がわかる地図を持

たせています。

△高校生の子どもに、徒步でも

にしたいと思います。

